

日時

2020年1月24日(金)
12:30~13:30

会場

第10会場
東京国際フォーラム
B2階 ホールE内

眼科サージャンは 光学系にこだわろう

～見える! を追求した手術顕微鏡～

座長

篠田 啓 先生 埼玉医科大学病院

演題① 演者

倉員 敏明 先生 はんがい眼科

手術顕微鏡で大切なコトとライカProveo8の特長

演題② 演者

伊藤 勇 先生 保谷伊藤眼科

Leica社Proveo8を使用した、ドイツ製他社顕微鏡ハードユーザーの忌憚なき私見

演題③ 演者

松本 惣一 先生 松本眼科

「ノーチラス号 海底二万里」「Proveo8 EnFocus 眼底二万里」



座長

篠田 啓 先生 埼玉医科大学病院 教授

Leica Proveo8は、現場のサージャンそして患者さんのために職人魂を持ったエンジニアが「術中の“見える!”」にこだわって、これでもかというくらいあらゆる工夫を追究して創られました。例えば、これまでの顕微鏡と比べて群を抜いてたくさんの光をアイピースに届けます。さらには、左右視路におのおの異なった強みを持たせることで焦点深度と解像度という相反する特性において共に高性能を実現した世界唯一の光学系を搭載しました。

本セミナーでは、Proveo8のこのような光学系を通して行う日々のマイクロサージャリーについて、あらためてLeicaユーザーの先生の視点から具体的にわかりやすくお話しいたします。また、他の顕微鏡ユーザーで新たにProveo8を使用していただいた先生に両者の違いを率直に語っていただきます。サージャンが顕微鏡に求めるものとは、そして患者さんにとっても優しい顕微鏡とは何かをみんなで確認しましょう。



演題① 演者

倉員 敏明 先生 はんがい眼科 院長

手術顕微鏡で大切なコトとライカProveo8の特長

手術を安全に乗り切るための手術環境整備の中で「顕微鏡による術中視認性」は最も重要な要素の一つである。

私がライカProveo8を思い切って導入してから2年ほど経過したが、そこから見てきたこの顕微鏡の特長や概要についてサージャンの立場から解説したい。

